

## 【報告】高齡者タクシー料金助成事業の拡充について

総合的な交通施策の見直しの一環として、高齡者タクシー料金助成事業を段階的に拡充します。

### <現状>

高齡者の外出支援として、満 85 歳以上の方に対して、初乗り運賃相当額を助成する利用券を交付しています。申請者に対して最大年間 28 枚を交付し、1 乗車 1 枚が利用できます。

表 利用実績

	申請者数(人)	利用枚数(枚)	決算額(千円)
令和元年度	1,389	13,797	8,234
令和2年度	1,449	11,825	7,049
令和3年度	1,538	13,423	8,002
令和4年度	1,622	13,750	8,197

(資料:犬山市)

### <課題>

- ・今後の一層の高齡化により交通弱者が増加する見込みの中で、どのように市民の足を確保するか。
- ・コロナ禍での利用者や運転者の減少などにより、タクシーの更なる利用減少が懸念される。 など



### <令和6年度の拡充内容>

75歳から84歳までの高齡者のうち、自動車運転免許証を所持しておらず、住民税非課税世帯に属する方を新たに基本料金助成の対象とします。

新たな対象者数:約1,000人

### <令和7年度の拡充内容(予定)>

85歳以上の高齡者のうち、住民税非課税世帯に属する方に対しては、これまでの基本料金助成に加え、年間12,000円の利用料金(500円券×24枚)の助成を開始する予定です。(現在、調整中。)

## ◆総合的な交通施策の見直しについて

### <検討の経緯>

下記の2事業について、これまでは各課個別で事業を実施していましたが、地域公共交通計画の策定を契機に、両課で連携を図り、犬山市における「総合的な交通施策の検討」として、協議を重ねました。

- ①交通空白地や交通弱者の移動支援としてコミュニティバス事業（防災交通課）
- ②高齢者の外出支援としてタクシー料金助成事業（高齢者支援課）

### <検討内容>

- ・わん丸君バスの方針
- ・デマンド交通の導入
- ・既存の公共交通（タクシー車両）の活用

将来的な方向性は、地域公共交通計画にて定めるべき事項であるため、直近の事業としての方向性を検討しました。

### <課題・意見など>

わん丸君バス	タクシーチケット(高齢者)	デマンド交通 ※R4 実施の実証実験より
<ul style="list-style-type: none"> <li>・土日運行がない</li> <li>・本数が少ない</li> <li>・バス停までが遠い</li> <li>・路線の長大化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本料金だけの助成</li> <li>・1乗車1枚しか使えない</li> <li>・タクシーがつかまらない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予約が面倒</li> <li>・相乗に抵抗がある</li> <li>・運行時間が短い</li> <li>・乗降場所が少ない</li> </ul>

### <まとめ>

わん丸君バス	タクシーチケット(高齢者)	デマンド交通 ※R4 実施の実証実験より
<p><u>現状維持</u></p> <p>多くの方の生活の一部になっている。生活交流路線として位置づけ、地域の実情に応じて維持・確保していく。ただし、運転士不足の課題もあり、これ以上の路線拡大は困難。</p>	<p><u>拡充</u></p> <p>家から目的地までといった住民ニーズに応えることができ、既存の公共交通の活用できる。</p> <p>制度の拡充により、わん丸君バスで不足する範囲を面的にカバーする。</p>	<p><u>見送り</u></p> <p>手ごろな金額で家から目的地まで移動でき、免許返納後の移動手段としての住民の期待は高いが、全域カバーするにはコストが高く、当面は見送りとする。</p>